



校訓

「夢を持って歩み続ける」

陽光(さん)

令和7年10月31日 第13号 文責 梶原 圭一



心身ともに成長する後期に！

後期の教育活動が始まりました。夏の猛暑も収まり、これから寒さを増してくる季節にはなりますが、落ち着いて学校生活を送れる時期でもあります。また、見学旅行や5年生の集団宿泊教室、6年生の修学旅行等、子どもたちが楽しみにしている行事等を計画しています。さらに12月には、熊本県及び菊陽町学力・学習状況調査も予定しています。これらの取組に向けて、本校が子どもたちに育てたい資質・能力を定めている「自ら考え行動する力」「思いを伝え合う力」「粘り強く取り組む力」をさらに伸ばしていくことを期待しています。

併せて後期の成長に期待することとして、「夢や目標をもつ」こと、「思いやりや感謝の心をもつ」ことがあります。児童会の委員長たちと話をすることで、「こんなことをしたい」や「こうすると学校のみんなが安心して生活できる」といった意見を出している子どもたちは、本当にキラキラと輝いて見えます。また、自分たちで決めた取組を実行している様子は、真剣で一生懸命さが伝わってきます。夢の実現に向けて、目標を一つ一つ乗り越え、自分への自信を高めていく生活を送ってほしいと思います。

また、自分の事を大切にするように、友だちや周りの人のことも大切にできる子どもたちであってほしいと願っています。その中でも特に大事にしてほしいのは、「言葉」です。SNSやYouTube等、様々な媒体の影響もあるかもしれませんが、言葉の乱れや一方的な発信などによる社会的な問題も起こっています。中には、それまでのやり取りや文脈を捉えず、一部の言葉を切り取って他者を攻撃するといった出来事も起こり、問題になっているというニュース等も目にするようになりました。言葉の選び方ひとつで、相手や周囲の人たちを温かい気持ちにできますし、悲しい気持ちにすることもあります。様々な言葉を柔軟に獲得している子どもたちであるからこそ、常に相手意識をもって言葉を発する力を身に付けさせていきたいと思っています。さらに、受け止めてくれている人へ「ありがとう」という感謝と寛容の心を育ていけるよう、道徳科や人権学習をはじめ、様々な学習及び生活場面で子どもたちに語りかけていきたいと思っています。

子どもたちが心身ともに大きく成長する後期です。グランドデザインで描いた学校経営の方針を一つ一つ確認しながら、教育活動を進めていきたいと思っています。保護者並びに地域の方々には、前期同様、本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

主体的に学習に取り組む子どもたち



10月28日(月)に町教育委員会の方々が学校を訪問され、子どもたちの学習の様子をご覧になりました。本校は学級数が多いため、かけ足での授業参観となりましたが、子どもたちの学びに向かう姿を大変褒めていただきました。また、タブレットPCを学習の様々な場面で活用している様子を見て、感心されていました。中には、「この授業を最後まで見たかった」と話される方も複数おられ、ありがたく感じたところです。また、子どもたちの明るさやあいさつ、そして落ち着いて学習を進められる雰囲気など高く評価していただき、子どもたちがしっかりと成長してきていることをうれしく感じました。学校訪問でいただいたご意見を基に、学校教育目標の実現に向けて全職員で力を合わせ、笑顔あふれるみんなの学校づくりに取り組んでいきます。

<後期の主な予定>

11月 7日(金) ~ 11月 8日(土) 修学旅行(6年)	11月 7日(金) 給食試食会
11月 18日(火) 食育の日(おにぎり持参)	11月 20日(木) なかよしフェスタ